

令和 8 年度 第 1 回 永平寺町地域公共交通会議 要旨

日時	令和 8 年 6 月 15 日(月)14:00～15:30
場所	永平寺町役場 3 階 大会議室
議題	別添「次第」のとおり
出席者	別添「配席図」のとおり
議題	「永平寺町地域公共交通計画」策定について

【諸言】

この会議では、地域における公共交通がテーマになる。生活を支える重要なインフラであることと合わせて、経済の活性化に不可欠なものである。

永平寺町は今年、公共交通に関連する計画を作ることが大きな目標。今年度は特に、計画策定のための調査や計画の中の目標をきちんと議論していく。

【議事概要】

委員定数 22 名のうち、代理出席を含め 21 名が出席した。交通計画の策定、運賃や運行内容をどうするか、路線の見直し、新しい交通サービスの導入、地域のニーズに合った利用者の手段の確保など、地域の様々な仕組みについて委員間で話し合いを行った。特に頻出したキーワードは「計画策定のためのスケジュール」「会議資料の内容とレイアウト」についてである。主な内容は以下の通りである。

※文末に発言者を記載する。例：永平寺町役場→(事務局)、公共交通会議委員→(委員)

- ・前段の方で使われているデータが古いのが気になる。町独自で追加作成が必要である。(委員)
- ・計画を作るうえで重要なデータは最新のものを採用する。(委員)
- ・観光地経営戦略の方で使われているデータ、字が潰れて凡例もないので、旅行者の特性を読み解けない。読み解ける図案を用意する。資料の文字サイズは 9 ポイントを使う。(委員)
- ・公共交通会議のスケジュールが示されてないが、既にアンケート実施を前提としている。まずスケジュールを計画し、どのタイミングで何を審議するかを明らかにしたほうが良い。(委員)
- ・高齢者は活字を読むことが少ない。資料を回覧板で回してもすぐゴミ箱に行ってしまう。どんな活用方法があるか CM のような PR が必要。ホームページの閲覧を促したところで、スマホを持っていない高齢者等は見ないと思われる。(委員)
- ・計画を作成する上での課題として、「公共交通の利活用不足」「高齢者の移動困難」「社会インフラの集約化」と挙げられているが、これらは既に十分認識されている内容である。(委員)
- ・現状の課題とその解決策の案だと説明していたが、この解決策の案が一人歩きしないように注意してほしい。現状をまだ分析してないのに解決策が先に出てくるのはおかしい。これが解決案の検討材料のベースとなっているとするなら、公共交通会議の中で最もコアになっているのが何なのか。(委員)
計画を作成するには、課題の整理、問題提起が必要不可欠である。
- ・最低限、例えばコミュニティバスであれば、利用者層（学生や高齢者など）がどのようになっているのかといった分析結果を明確にした上で作成が必要。より分かりやすく要約し、ポンチ絵形式や地図、主要な目的地の情報なども付加し、利用者数の推移や地域ごとの状況、今後の見通しなどを示すべきである。このような現状と課題分析を行った上で、初めて議論が成立すると考える。(委員)
- ・現状と課題について、より分かりやすく示してほしいと考える。(委員)